



支援事業終了報告

ちようちんに想いを込めて、25年の軌跡！

江別まことええ&北海道情報大学
柏木 真紀子

チーム結成25周年記念事業として、15年ぶりに衣装に法被を取り入れること、二つの道外遠征を企画しました。まず法被にはチーム名である「まことええ」の文字を模様にして、25年間様々な形でまことを支え応援してくださった多くの方々への感謝の思いを背負って踊りました。もちろん両手にはちようちんを持ち、これから先にもまことこの道を明るく照らしていきたいという強い願いを込めました。



道外遠征では9月に茨城県神栖市の「かみす舞っちゃげ祭り」、10月には三重県津市の「安濃津よさこい祭り」に参加してきました。特に6回目の参加となった「かみす舞っちゃげ祭り」では、まこととTシャツ



等のまことグッズを身に付けて、江別市のPRソングでもあるまこと総踊りを覚えて一緒に踊るのを楽しみに待っていてくれたりするまことこの追っかけファンが拡大しました。

いよいよ2018年となり、現在新たな道を模索しながら歩み始めている日々です。チーム間の絆、YOSAKOI間の絆、そして江別市との絆をより一層大切に、一人でも多くの皆様へ愛されるチームに成長していくことが毎年の変わらぬ目標です。6月のYOSAKOIソーラン祭りでは是非とも2018年の演舞を応援してください。

「えべつ縄文火まつり」を終えて

えべつ市活動団体 江北まちづくり会
萩原 一彌

江別市都市と農村の交流センター「えみくる」では、4月の運用開始から食の安全・安心をテーマにした食育体験や農産物を活用した加工食品の創作、健康向上教室、江別型グリーン・ツーリズムなど地域に根差した活動を実施しております。また、歴史と文化交流事業として江別の特産物である焼物を活用した、手づくり「自分で作る江別式縄文土器（えべつ縄文火まつり）」を考へておりました。

この江北地域は、石狩川沿いに多くの先住民が居住していた跡が残る地域でもあると共に、明治時代では北海道開拓の礎となった地域としても有名です。その歴史の財産を実際に自分達の手で「江別式土器」を作った、野焼きの窯に自分達で用意した焚き木に火を入れ、土器を手にするこの大切さを発信できた事はとても良かったと思えます。

勢いよく立ち上る炎を見ていると昔の人達もこの様な感じと、炎をみつめてくっと思つて、炎を揺らめく一瞬「悠久の時を旅する」ことが出来たように感じました。焼き上がるまで、縄文時代の生活の話や明治の開拓時代、泥炭開発の話、江北中学校の話などを通して参加者とお話しができた事が楽しい



思い出となりました。また、自分の作品を窯から取り出した時のお父さんやお母さん、お子さん達の笑顔がいまでも忘れることが出来ません。

最後にになりましたが、江別市生涯学習推進協議会のみならず、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

秋の好天に恵まれた10月21日、野幌公民館にて開催され開場前から行列ができ、この内容が講師の方への期待が高いことが何れもわりました。講師である岸木氏は江別市畜産大学や農業学園などでも講師をされ、大変好評だと伺ったので講師依頼でしたが、評判通りユーモアを交え、その見識の深さなどで時間がたつのを忘れ、当会事務局も写真撮るのを忘れるほど面白い内容でした。

平成29年度に「江別生涯学習インストラクターの会」で企画した「自分のファミリーヒストリーを知ろう」講師 岸本 良信氏の事業に付きまして、支援事業として講師謝礼の支援と、ら・ら・らでの広報支援をいた



思い出となりました。また、自分の作品を窯から取り出した時のお父さんやお母さん、お子さん達の笑顔がいまでも忘れることが出来ません。



当初は、動きが進まず果たして成功するだろうかという不安な時もありましたが、実行委員や、それ以外の多くの皆さんが原作者の小林多喜二が幼少期から青年時代を過ごした小樽や、江別近郊でPRを続けた成果が出始め、結果として公演当日の10月21日は800名を超える大勢の来場者を迎えることが出来ました。舞台上に創られた船や、シケで揺れるシーン、波しぶきも全て人間の手によるもので、観客はそのリアルな演出で、40人の出演者による大掛かりな舞台を堪能しました。

昨日11月9日(木)野幌公民館にて、江別モラロジ事務所主催の講演会を開催しました。講師は公益財団法人・モラロジ研究所の社会教育講師で吉小牧在住の二階堂徹氏から「育てる心」と言うテーマでお話を伺って頂きました。私たちは「同じ時代を生きる人も前の時代を生きた人」も含めた多くの人たちのおかげで生かされて生きている存在です。多くの人たちの「育てる心」を思い、自分自身も今の社会や次の世代に対する責任を私たちが心に決めて、そ、私たちは自分の人生をしっかりと歩んで行くことが出来るのではないのでしょうか。



創立30周年記念「蟹工船」を上演 壮大な舞台を堪能！

江別演劇鑑賞会
上野 美智子

江別演劇鑑賞会は今年で30歳を迎えました。その記念として日本演劇の金字塔といわれる「蟹工船」をぜひ、江別で初上演したいと実行委員会を立ち上げることにしました。また、この名作を上演することで江別に演劇

江別演劇鑑賞会は、江別で観て良かったといえる演劇を観続けたいと、北海道内では7番目の鑑賞団体として1988年に創立されました。30年過ぎて文化を巡る状況は「一層厳しい」中にありますが、これからも生身の舞台を江別で観ていきたいと思えます。

当日はあまり天気も良くなく寒かったので参加者が少なかったのが少し残念でしたが、帰る時は皆さん温かい気持ちになりました。ようです。又機会がありましたらお声をかけて下さいと言われました。

ニユーモラル講演会

江別モラロジ事務所
得地 陽子

【会員の活動紹介】メデイネット江別

私たちメデイネット江別は、ステールカメラ・ビデオカメラ・パソコンでのビデオ編集などを駆使し、江別市やその近郊を主とした、市民活動団体の活動や江別市民会館に関する観光情報、江別市で行われる各種イベントなどを、ここ江別市から全国へ情報発信しています。

発信だけでなく、撮影・編集・パソコン技術の向上を図り、よりハイレベルな技術習得を目指して活動することや、一般市民及び市民活動団体に広く啓蒙することなどを旨とし、平成24年10月1日に発足しました。

現在、メンバーは8名で、元々は市民活動センターあいのメデイア事業部のメンバーでした。事業部の活動機会が減ってきたことから、新規に独立して市民活動団体として活動を始め、今日に至っています。

メンバーの平均年齢70歳超と後期高齢者ではありませんが、それぞれステールカメラやビデオ撮影・編集など特技を發揮し、元気に活動を進めています。

【主な事業】

その目的を達成するため、次の事業を行っています。



【メデイネット江別メンバー】



メデイネット江別のホームページはこちらのQRコードから

- (1) ビデオ・ステールを駆使して活動など記録
ビデオ・ステールカメラ等のビデオ機器を駆使し、江別市内・その近郊・道内の市民団体などの活動・行事・イベントなどを記録。
- (2) 活動記録などの映像をHPで全国発信
作成したビデオやステール写真等の情報を、私たちが管理するホームページに掲載し江別市から全国へ情報発信をしています。
- (3) 映像撮影・編集技術などの向上を図っています
一般市民、団体等に対し、撮影・編集・パソコン技術などの、レベル向上・研鑽のために必要な勉強会や講座を開催。一般市民・市民活動団体などを対象にパソコン技術の啓蒙活動を実施しています。過去開催した講座は、ビデオ編集講座（初級・中級・上級）、画像処理講座（初級・中級）で、毎年行っています。
- (4) 市民活動団体の活動をサポート
江別市内で活動している団体等の活動、行動に対して協力関係を重視して、サポート活動を行っています。

この事業は、江別市「協働のまちづくり活動支援事業」で取り組んでいるもので、本年度は、「市民活動支援のためのビデオ作成事業」をテーマに進めています。

内容は、活動紹介団体の1分間

【活動実績】

- (1) イベントや活動紹介など江別の情報発信
本年度は、理事として広報委員会に所属しています。今年度のフェスティバルの模様を、紹介DVDを作成して活動の一助となるように活動をしています。
- (2) イベントの記録としては、えへつ農業祭り＆まるごと江別 江別やきもの市、スノー



【屯田資料館撮影風景】

- (3) フェスティバル。
市民活動では、野幌太々神楽の記録映像、まちかどコンサート、笑いヨガ＆落語講座、江別市民会館避難所運営訓練、あおむし人形劇団の人形劇、体軸トレーニング講座、江別観光ボランティアガイドに密着したまち歩きガイド。
- (4) 江別屯田兵村第二中隊本部後の紹介、ガラス工芸館の紹介など。
- (5) ノハナシヨウブ群生地の紹介、江別のれんが作り工場から商業施設に生まれ変わった「C.B.R.I」の開設イベント。
- (6) 聚楽学園祭の学習成果紹介・合同課外学習江北地域探訪、江別陶芸展第10回チャリティーエッセ展。
- (7) 江北地域のイベント紹介、篠津兵村フットパス、江北ふれあい祭り、美原地区りまわり迷路、「えみく」などの活動記録。

これからのイベント

◆江別更生保護女性会

○東日本大震災復興チャリティ 合唱の集い

日時/2018年03月11日(日) 14:00～

場所/野幌公民館1階 ホール

震災を風化させないよう陸前高田市に植樹する、桜の苗木を購入する為のチャリティイベント。内容は合唱、黙とう式、他団体の協力によるバザー。

◆江別市女性団体協議会

○第40回えへつ女性協まつり

日時/2018年07月1日(日)

9:30開場 10:00開演

場所/江別市民会館 大ホール

コーラス・フラダンス・日本舞踊・ヒップホップダンス・太極拳などジャンルの違う団体、個人が舞台上に立ちます。

入場料/大人(中学生～)500円

子ども(小学生)100円



【フェスティバルDVD作成】



【活動紹介ビデオオープニング画面】



【ガラス工芸館撮影風景】

【会員規約】

この団体は、正会員と賛助会員によって構成されています。正会員は、この団体の活動に賛同して頂いて入会された方。賛助会員は、この団体の事業に賛助するために入会された方。

今回の手話

「ありがとう」「感謝する」「お礼をする」

左手甲に小指側を
直角にのせた右手を
上げながら頭を下げる



会員の入会については、特に条件はありません。団体の趣旨に賛同して頂けることが確認できれば入会できます。
役員体制は、理事長、事務局長、理事、会員となっています。会費は、年会費3,000円を徴収しています。年一回の総会において、納入して頂きません。毎月例会を第3火曜日に開催し、役員及び会員全員が集まり、活動の実績報告、今後の活動内容など話し合っています。今後とも、江別の情報や良いところをホームページから発信してまいります。

《編集後記》

今年度も各団体会員皆さんの活発な様子を誌面で、紹介することが出来ました。ありがとうございました。江別って活力ある市だなあと、感じています。

最近、AIやらハイテクな話題が取り上げられていますが、アナログ人間の一人として、取り残されたい不安ですが、ついていけるよう変わらなくてはなりません！

今後とも当会をよろしくお願いたします。

西懸 昭子